

平成24年11月21日

教育機関長
高校長様
教職員
関係者

北海道高等学校教育経営研究会
会長 辻 敏 裕
(北海道札幌南高等学校長)

平成24年度北海道高等学校教育経営研究会冬期フォーラムの開催について
(ご案内)

晩秋の候 皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、本会の研究活動に平素から高い関心とご支援を賜っておりますことに、心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、高経研では、ポスト3・11の教育を念頭におき、2030年すなわち20年後の社会を見据えた教育の在り方を探ってきました。具体的には、21世紀の知識基盤社会を見据え、情報と知識の関連や、グローバルとローカルの両方を見据えた「グローバル」をキーワードとした新しい市民性教育の在り方について研究を続けてきました。

このたび、高経研の研究成果を「現場発！ 高校教育の未来・90年代からの軌跡と2030年の展望・」(学事出版)という一冊の本にまとめました。北海道における実例をもとに教育改革の推進状況を総括し、2030年の社会を見据えた教育の在り方を具体的に提言しています。

平成24年度冬期フォーラムにおいては、この出版本に基づく具体的な提言をもとに、2030年の教育の在り方について、皆様とともに研究協議を行ってまいります。

つきましては、公務ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、貴職の参加並びに学校運営に携わる副校長・教頭や部長主任を始めとした関係教職員へのご案内とご派遣について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

添付資料

- 1 平成24年度冬期フォーラム開催要項
- 2 参加申込書(FAX送信票)
- 3 冬期フォーラム紹介チラシ

平成24年度 北海道高等学校教育経営研究会冬期フォーラム開催要項

1 研究主題と研究課題

(1) 研究主題 北海道を元気にする高校教育

(2) 研究課題 高校教育の未来

～高校教育改革=90年代からの軌跡と2030年の展望～

1984年に設置された臨時教育審議会に端を発する第三の教育改革は、1990年代後半から具体的な制度改革が推し進められ、今日まで続いています。本道においても、「公立高等学校適正配置計画の基本指針と見通し（平成12年策定）」や「新たな高校教育に関する指針（平成18年策定）」に基づき、新しいタイプの学校が次々と設置されてきましたが、その現状・成果と課題について整理し、今後の進むべき方向を確認する時期にきているものと考えます。

また、特にポスト3・11の教育においては、クリティカルシンキングを重視した市民性教育の推進が求められますので、こうした教育の質的転換を根本に見据えた新たな教育改革の志向は、真の意味での第三の教育改革を実現するものと確信しています。

このたびのフォーラムでは、本会で出版した「現場発！ 高校教育の未来・90年代からの軌跡と2030年の展望」（学事出版）を資料とし、2030年における高校像について、具体的な提言をもとに研究します。

2 期 日 平成25年 1月12日（土）

3 会 場

学校法人北海学園
 北海商科大学8階 講義室
 フォーラム会場
 札幌市豊平区豊平6条6丁目10番地
 TEL (011)841-1161(代)
 地下鉄東豊線「学園前」駅4番出口直結
 駐車場はありませんので公共の交通機関をご利用ください。

教育懇談会会場 ホテル ライフォ - ト札幌
 札幌市中央区南10条西1丁目
 TEL (011)521-5211(代)

フォーラム会場から教育懇談会会場までは無料バスを用意しております。

4 日 程

9:30 10:00 10:15 11:45 12:15 13:15 13:45 14:10 15:30 15:45 17:00 18:00

受付	開講式	第 部		昼食休憩	第 部			休憩	第 部	閉講式	教育懇談会
		基調講演	質疑		基調発表	提言	研究協議		提言		

5 講師・提言者

《第 部：高校教育改革=90 年代からの軌跡》

基調講演 (演題) 「ポスト 3・11 の教育を展望する」
北海道札幌南高等学校長 辻 敏 裕 氏
(北海道高等学校教育経営研究会会長)

《第 部：高校教育改革=2030 年の高校の展望》

基調発表 (発表題) 「2030 年の高校～縦横の連携・統合が支える高校像～」
学校法人北海学園 北海商科大学教授 堂 徳 将 人 氏
(北海道高等学校教育経営研究会事務局長)

提言者
北海道深川東高等学校長 小 形 秀 雄 氏
北海道登別青嶺高等学校教頭 柴 田 健 一 氏
北海道浦河高等学校教頭 山 崎 誠 氏

《第 部：高校教育改革=2030 年の高校への期待》

提言者
北海道教育庁教育指導監 緒 方 公 氏
北海道札幌北高等学校長 黒 田 信 彦 氏
北海道札幌南高等学校長 辻 敏 裕 氏

コーディネーター 藤女子大学教授 太 田 眞 氏
(北海道高等学校教育経営研究会参与)

6 参加申込

(1) 申込方法 別紙『FAX 送信票』にて下記宛に送信をお願いします。

問合わせ

北海道 浦 河 高等学校
教頭 山崎 誠 (高経研事務局担当)
〔TEL(0146)22-3041 FAX(0146)22-2814〕
Mail: mansyutain@hotmail.com

(2) 申込期日 平成 2 4 年 1 2 月 1 8 日 (火) 必着といたします。

(3) 参加料等 当日フォーラム会場受付で納入をお願いいたします。

フォーラム参加料 3,000 円

参加料には研究参考資料代(高経研発行図書「高校教育の未来」
学事出版：定価 1,800 円)などが含まれています。

教育懇談会費 4,000 円

1 事前に参加申込された方のみ徴収いたします。なお、当日のキャンセルについてはご容赦願います。

2 教育懇談会に参加される方につきましては、誠に勝手ながら職員番号の記載についてご協力をお願いします。

(4) その他 ・昼食は会場周辺の飲食店やコンビニ等の利用をお願いいたします。

F A X 送 信 票

鑑なしで送信ください。

発信年月日	平成 2 4 年 月 日 ()			
送 信 先	浦河高校内 高経研事務局 山崎 誠 (FAX 番号 0 1 4 6 - 2 2 - 2 8 1 4)			
件 名	平成 2 4 年度高経研冬期フォーラムの参加申込について			
送 信 元	氏 名			
	所 属			
	電話番号			
参 加 区 分	<p style="text-align: center;">フォーラム及び教育懇談会に参加 (職員番号記載)</p> <p style="text-align: center;">フォーラムのみ参加</p> <p style="text-align: center;">教育懇談会のみ参加 (職員番号記載)</p>			
参 加 者 名	所 属 名	職 名	氏 名	区分内容
		職員番号		
		職員番号		
		職員番号		
質 問 ・ 意 見 欄				